

平成31年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策担当

内線：4107

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B21	埼玉農産物輸出総合サポート事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	海外新規販路対策事業費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	なし			宣言項目	09 儲かる農業の推進		
						分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業概要 世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国での経済成長、人口増加により、高品質で安全な本県農産物の輸出可能性が増し、需要増加が見込まれ海外での商機が増している。 そこで、新規に輸出を志向する生産者団体等の啓発や、輸出先国でのフェアの実施など、段階に応じた輸出支援を行い県産農産物の輸出力の向上を図る。 (1) 農産物輸出推進事業 2,053千円 (2) お土産輸出販促事業 333千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 農産物輸出推進事業 2,053千円 埼玉農産物輸出促進協議会を運営し、輸出に関するセミナー、研究会による情報提供などを行い、県産農産物の輸出促進を支援する。併せて、海外でのプロモーションや商談会へのバイヤー招へいを実施し、県産農産物の海外販路開拓・拡大を支援する。 イ お土産輸出販促事業 333千円 訪日外国人が県内観光地で購入したお土産用の農産物・加工品について、空港での検疫手続き簡略化への支援等を行い、訪日外国人の市場を開拓する。 (2) 事業計画 ア 埼玉農産物輸出促進協議会の運営、農産物輸出関連情報の提供及び研修会・商談会の開催 イ 県産農産物の海外への持ち帰りを支援し、インバウンド客の市場開拓の実施 1カ所 (3) 事業効果 H28:輸出品目2品目の増加 H29:新たな輸出開始事例 5事例 H30見込:新たな輸出開始事例 5事例 H31目標:新たな輸出開始事例 5事例 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 日本貿易振興機構(ジェトロ)、農協、マーケティング研究機関等と連携し、効果的な事業実施を図る。 (5) その他 海外新規販路開拓事業を廃止した。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	2,386							2,386	△1,605
前年額	3,991							3,991	